

パルシティ江東通信 vol.52

合言葉は

「無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。」

内閣府男女共同参画局は、6月23日から29日の「男女共同参画週間」に向け、これからの時代を創り上げていくユース世代（15～20歳）から、日本国内、国際社会に向けたメッセージとなるキャッチフレーズを募集しました。応募総数4,326点の中から審査の結果、上記タイトルのとおり決定ⁱしました。

6月には、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が栃木県日光市で開催されます。世界共通の持続可能な開発目標（SDGs）で掲げられている17の目標のひとつ、「5. ジェンダー平等を実現しよう」。男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進は、日本だけではなく世界共通の課題です。

以下では、東京都と江東区の取り組みを一部ご紹介します。

東京都の取り組み

東京都では、男女平等参画の現状と施策を紹介する「だれもが輝くとうきょうガイドブック～男女平等参画のための施策～」を発行し、生活文化スポーツ局ウェブサイトでデジタル配布しています。さらに、社会全体が家事・育児をチームとして考える「TEAM 家事・育児」、女性の悩み相談サイト「TOKYO メンターカフェ」、若者がキャリアデザインを知る「WILL キャリッジ」等を運営し、情報発信をしていますⁱⁱ。

また、性別による無意識の思い込みに気づく取り組みとして、「女性だから？男性だから？『無意識の思い込み』エピソード」を募集し、投稿の中から選ばれた「みんなの『気づき』」につながる100のストーリーを公開しています。



江東区の取り組み

江東区では、男女共同参画社会の実現を重要な施策の一つと位置付け、推進に取り組んでいるところです。男女共同参画推進センターでは、先入観に気づき新たな視点を養う連続講座「パルカレッジ」や、フォーラム、学習講座など各種イベントの実施、広報紙「PalCato（パルカート）」の発行、女性のための法律相談などを行っています。

一人ひとりがお互いに、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、その人の個性が尊重され、すべての人が自分らしく、平等に安心して暮らすことができる社会の実現を図る。それが江東区男女共同参画行動計画の基本理念です。私たち一人ひとりが「無くそう思い込み、守ろう個性」を意識して、日々の生活の中で取り組んでいくことが大切です。

【出典・引用・参考文献】

i. 男女共同参画局『令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズの決定』<https://www.gender.go.jp/public/week/catch2023.html>

ii. web サイトなどの取り組み <https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/danjo/>